京都市バス 新ダイヤでサービス充実

IC定期券、乗継割引も

衣笠キャンパスへの通学はもちろん、京都市内の移動や観光で多くの人が利用する京都市バス。今年3月のダイヤ改正で、より便利に利用できるようになった。今回は、市バスと地下鉄を運営する京都市交通局に市バス新ダイヤや新サービスについて話を聞いた。（吉武）

今年度から開始された「IC玉サービスに「ICOCA定期券」の発売とICカード乗継割引がある。

これまで交通局では紙または磁気の定期券を発行してきたが、今年度からICOCA定期券の発売を開始した。既に磁気や紙の定期券を持っていても、手数料無料でIC定期への切り替えが可能だ。乗り越した場合もタッチするだけで自動精算され、紛失しても再発行が可能。紙や磁気の定期券よりも便利に利用できる。

またICOCAなどの交通系ICカードで地下鉄・市バス・京都バスを乗り継ぐと割引を受けられるようになった。バスとバスを乗り継ぐと90円、バスと地下鉄を乗り継ぐと60円が2回目の運賃から割引される。

訪日外国人観光客の増加で京都の街を走る市バスは混雑を極めているが、新ダイヤ改正によって混雑解消に向けた主要系統の運行拡充が行われた。循環系統の203、204、205、206系統でラッシュ時間帯の増便が行われた。また朝8時21分と29分に西大路四条を発車する臨時直行バス、立命館ダイレクトは運行を継続していて、こちらの利用も便利だ。

市交通局は、観光客と市民の双方が快適に利用できるよう、今後も混雑解消に取り組みたいとしている。

立命館大学前を起点とする市バス路線図

キャンパス内から発車するバス

難民・国内避難民考えるワークショップ

国際平和ミュージアム

立命館大学国際平和ミュージアムの学生スタッフの有志が、NGOワークショップの企画を進めている。6月14日に16時30分より同ミュージアム2階会議室にて本学学生を対象に行われるワークショップでは、日本国際ボランティアセンター（JVC）の職員を講師に招き、イラクにおける難民・国内避難民問題についてレクチャーやディスカッションが予定されている。

これに先駆けて4月27日に平井嘉一郎記念図書館で学生スタッフが集まり、事前学習会が開かれた。2015年度のワークショップの模様を視聴した上で、パレスチナ・イエメン・シリアにおける難民・国内避難民問題について意見を交換した。

例えばシリアでは、反体制派・自由シリア軍とアサド政権の対立に欧米諸国が介入、その他にもトルコによるクルド系民族への支援なども絡み、事態が複雑化している。事前学習会を終え、ワークショップ企画メンバーの1人、飯間日夏子さん（文3）は「参加者同士での話し合いを通じて、難民・国内避難民問題についての新しい視点からの気付きを得られた」と話した。

国際平和ミュージアムの学生スタッフは2階展示室において来館者に対して難民・国内避難民問題を含めた世界の諸問題についてのナビを行っている。ワークショップの準備を進める中でスタッフは国際問題に関する知識を増やし、ナビ内容の充実化を同時に図っていく。（眞子）

グループワークでは多様な意見が交わされた

大政奉還150周年記念プロジェクト

2017年は大政奉還から150年の節目を迎える。これを記念し、京都市を中心とした幕末維新にゆかりのある全国21都市が「大政奉還150周年記念プロジェクト」を開催している。プロジェクトのウェブサイトでは各都市にある「幕末維新の舞台」の情報が掲載されており、京都市は38か所が紹介されている。

各都市に複数あるゆかりの地の中でもスタンプスポットに選ばれている施設があり、スタンプを集めて応募すると抽選で賞品が当たる「幕末維新スタンプラリー」が実施される。京都市では、幕末維新ミュージアム霊山歴史館と二条城がスタンプスポットとなっている。

二条城 二の丸御殿

霊山歴史館は幕末から明治維新期の歴史を主として研究する全国唯一の専門博物館で、黒船や新選組などに関する展示がされている。幕末に活躍した人物の遺品や書状、坂本龍馬を斬った刀など貴重な資料を見ることができる。

二条城二の丸御殿大広間は、徳川慶喜が大名家の重臣を集めて大政奉還を諮問した場所で、徳川の世に幕を下ろした歴史的な舞台だ。二条城の展示収蔵館では大政奉還百五十周年を記念して、6月27日～9月3日には黒書院の障壁画、9月14日～11月12日には大広間の障壁画が展示される。

スタンプラリーの台紙は、大政奉還・幕末の歴史が詳細に記載されたガイドブックになっている。武家政権から近代日本への転換の歴史に興味がある人には是非手に取ってもらいたい。

幕末維新ミュージアム霊山歴史館

カップヌードル発明者は立命館OB

今や日常生活において欠かすことのできないカップ麺。そのあまりの手軽さとおいしさに特に下宿生は頼ってしまっている人が多いのではないだろか。そんな便利なカップ麺の代表商品は日清食品のカップヌードルであろう。カップヌードルは世界初のカップ麺として発売された。そんなカップヌードルを発明したのが日清食品を創業した安藤百福である。安藤百福は立命館大学出身なのだ。

その偉大な安藤百福にちなんだ「カップヌードルミュージアム」が横浜にある。横浜市中区のみなとみらい21地区にあるこのミュージアムは、安藤百福がいかに苦難の道をたどりながら20世紀最大の発明といわれるカップヌードルを発明したのか、安藤百福の「クリエイティブシンキング」を様々な展示とともに体感することができる。

これまでに発売された歴代のインスタントラーメンのパッケージを見ることができたり、チキンラーメンやカップヌードルを自分で作る体験ができたりと、そのほかにもとても興味深い展示や体験コーナーが数多く存在する。

立命館大学生ならば、一度は訪れてみるべきだ。

ミュージアムではオリジナルカップヌードルを作れる

たくさんの人に伝えたい感動や興奮。
共有したい情報や想い。
それらを表現できるのはたった一枚の紙の上。
限られた範囲で何ができるか。
記事の構成、写真のアングル、
紙面のデザイン、見出しの付け方。
伝えたいから、全てにこだわる。
こだわるから、良いものが生まれる。
私たちにしかできないことが、ここにある。

新人記者、募集中。

立命館大学新聞社
RITSUMEIKAN UNIV PRESS

www.ritsumeikanunivpress.com
075-465-8253
info@ritsumeikanunivpress.com
@Rits_Press
www.facebook.com/ritspress/

京都・衣笠：学生会館 2F BOX210
滋賀・BKC：セントラルアーク 4F アクト・オフィス内
大阪・OIC：A 棟北ウィング 3F Student Loundge 内